

来月の消費予報

消費意欲指数は、6月から続いた上昇傾向から一転 前月比マイナスに。

株式会社博報堂(本社・東京)のシンクタンク博報堂生活総合研究所は、20~69歳の男女1,500名を対象に「来月の消費意欲」を点数化してもらうなど、消費の先行きに関する調査を毎月実施。その結果を「来月の消費予報」として発表しています。※7月上旬に調査(詳細はP5)
8月の消費意欲指数は49.5点。前月比は-2.3ptと低下、前年比は-0.2ptの横ばいとなっています。

8月の消費意欲指数



【前月比】

-2.3 ポイント

【前年比】

-0.2 ポイント

■ : 前月比/前年比で上昇 ■ : 前月比/前年比で下降

「消費意欲が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか?」と質問。

カテゴリー別 消費意向

【前月比】



【前年比】



★ UP : 前月比/前年比で20人以上増加 ● DOWN : 前月比/前年比で20人以上減少

「来月(8月)、特に買いたいモノ/利用したいサービスがありますか?」という質問に「ある」と回答した人に、具体的に「買いたいモノ/利用したいサービス」を選んでもらった結果を前月/前年と比較して作成。

8月のポイント

Point1 : 「自粛の反動での消費」の落ち着きと、コロナ再拡大の懸念から意欲低迷

夏休みや帰省がある8月は、消費意欲指数が高くなる傾向がありますが、前月から-2.3ptの低下となりました。

消費意欲指数の理由(自由回答)をみると、コロナ禍に関連した回答のうち、消費にポジティブな回答は、前月から100件以上減少(20年7月216件→20年8月104件)(以下、西暦略)する一方、消費にネガティブな回答は増加(7月290件→8月320件)しています。

詳しく内訳をみると、消費にポジティブな回答では「自粛の反動で外出・買い物したい/我慢していた消費をしたい」が大きく減少(7月129件→8月54件)し、消費にネガティブな回答では「(ボーナスや給付金で)すでに買った/特に欲しいものはない」が増加(7月237件→8月300件)するなど、自粛中に抑制していた消費欲求が一旦落ち着いたことが、8月の消費意欲指数低下の一因となっているようです。

加えて、「コロナが怖いので出かけたくない/意欲がわかない」(7月67件→8月77件)や「コロナで外出・買物ができない」(7月109件→8月127件)などが増えており、コロナ再拡大への不安も、消費意欲低下に影響を与えているようです。

また、「特に買いたいモノ/利用したいサービスがある」人は25.9%で、前月比-7.0ptと大きく落ち込みました。カテゴリー別の消費意向は、「ファッション」「外食」「家電・AV」などを中心に、16カテゴリー中11カテゴリーが、前月から20件以上減っています。

Point2 : 特に、女性の消費意欲指数の低下が顕著に

消費意欲指数を男女別にみると、男性48.8点、女性50.2点となっており、前月と比べると女性の指数低下(男性-0.6pt、女性-4.0pt)が目立つ結果となりました。

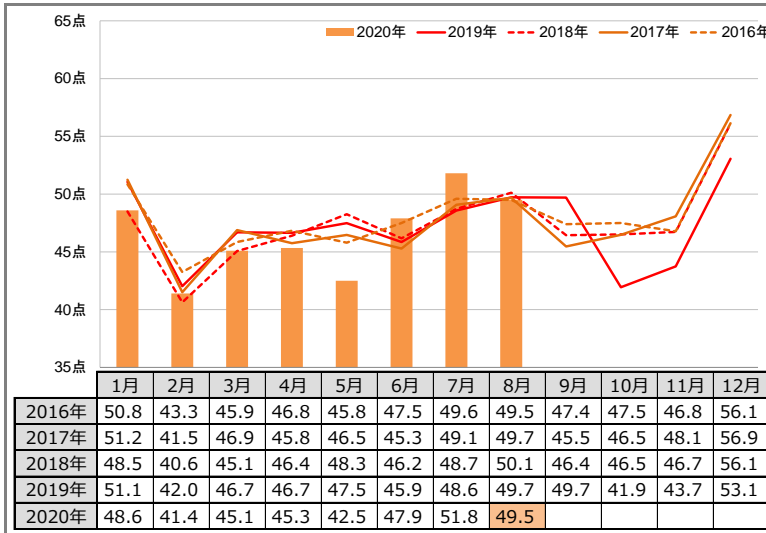
消費意欲指数の理由で、コロナ禍に関連した回答のうち、消費にポジティブな回答は、前月比で男性-30件、女性-82件、消費にネガティブな回答は、前月比で男性±0件、女性+30件となっており、女性の方がよりポジティブな回答が減り、ネガティブな回答が増える結果となりました。

消費意欲指数

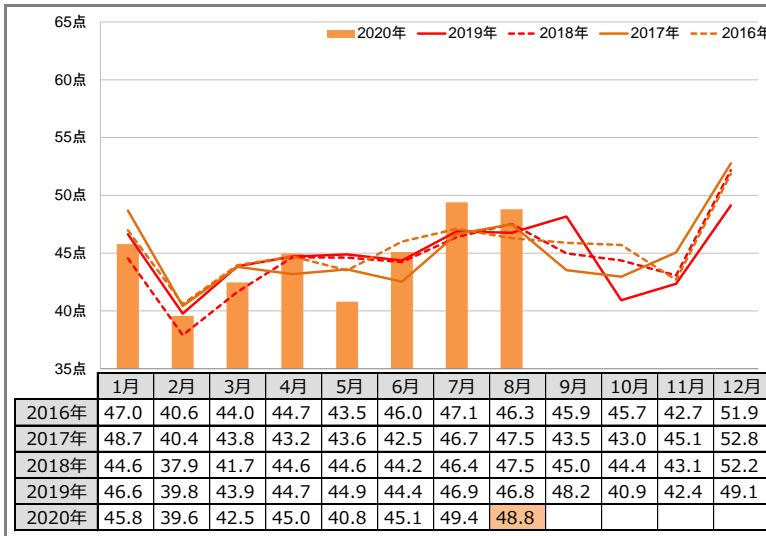
■ 時系列グラフ

Q. 消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)

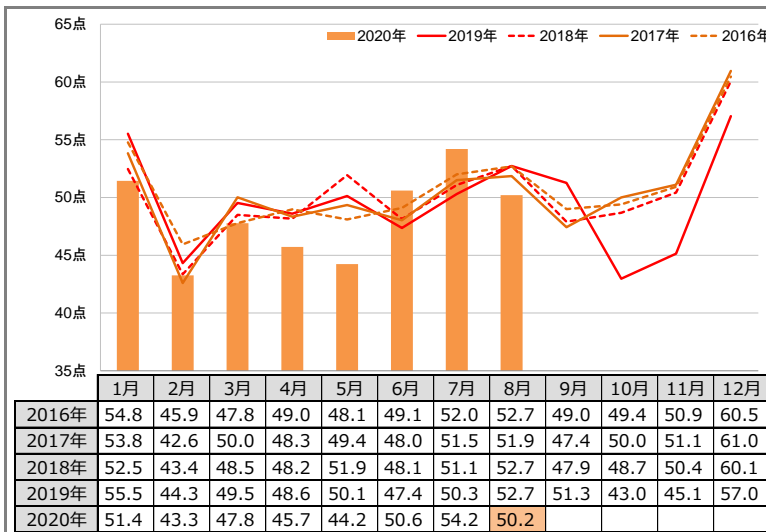
【全体】



【男性】



【女性】



消費意欲指数

■ 性別/年代別比較

	(点)						(pt)	
	20年3月	20年4月	20年5月	20年6月	20年7月	20年8月	20年8月比較	
							前月比	前年比
全体	45.1	45.3	42.5	47.9	51.8	49.5	-2.3	-0.2
男性	42.5	45.0	40.8	45.1	49.4	48.8	-0.6	+2.0
女性	47.8	45.7	44.2	50.6	54.2	50.2	-4.0	-2.5
20代	46.5	47.0	46.0	50.7	57.5	50.3	-7.2	-4.3
30代	47.5	45.5	43.3	51.5	52.9	51.5	-1.5	+1.2
40代	44.7	44.9	41.3	47.5	50.9	51.1	+0.2	+2.0
50代	43.3	45.1	40.1	44.5	48.0	47.0	-1.0	-0.1
60代	43.9	44.6	43.1	45.9	51.2	47.5	-3.7	-1.2

+3pt以上の増加
-3pt以上の増加

■ 消費意欲指数の理由(抜粋)

Q. (消費意欲の点数について)あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【コロナ禍に関連する消費にネガティブな回答】>

- ・長期連休はあるがコロナ関係であまり外出したくない(20点・男性29歳・岐阜県)
- ・今年の始めに引越しをした上にコロナの影響で収入が不安定であまり貯蓄がない事と、コロナの第二波に備えて(10点・男性38歳・大阪府)
- ・コロナの時期で消費意欲より貯蓄を考えるから(30点・男性48歳・東京都)
- ・第二波と考える新型コロナウイルス感染症が拡大している中、外出する気が失せるから(10点・男性52歳・東京都)
- ・特に欲しいものはなく、食べ物には興味があるが、コロナの影響で好みのレストランが開店していないため(30点・男性64歳・大阪府)
- ・いまだ収束しないコロナウイルスの影響もあり、今年の夏は例年に比べると外出や買い物意欲が沸かない(50点・女性27歳・東京都)
- ・6月に結構色々買ったから(給付金入ったから)(40点・女性32歳・愛知県)
- ・まだコロナが収束しておらず、ショッピングに出かけたい気にならない。旅行も行きたいが、身内が反対しているので行けない(30点・女性45歳・大阪府)
- ・日用品や食料等必要な物は購入するが、消費者還元も終わったし、外出もまだまだ普通に出来ないので、購入意欲は無い(20点・女性52歳・東京都)
- ・コロナの再燃が起きており再び感染予防のため自宅にこもらざるを得ないと思うから(30点・女性63歳・東京都)

<生活者の声～消費意欲指数の理由～【コロナ禍に関連する消費にポジティブな回答】>

- ・夏のボーナスや給付金が入ったので、今まで我慢していたものを買うと思うから(80点・男性25歳・愛知県)
- ・自粛生活が長く、夏休み等での消費意欲が高いから(80点・男性37歳・東京都)
- ・お盆に家族で美味しいものを食べたい。連休が自粛だったので(80点・男性46歳・大阪府)
- ・そろそろ遠出をしないと精神衛生上良くないから(80点・男性58歳・神奈川県)
- ・外出自粛でお金の余裕が有るから(100点・男性66歳・大阪府)
- ・給付金が入るので子供の服や物を色々買いたい(70点・女性25歳・愛知県)
- ・自粛の間、子どもと家でずっと過ごし、なかなか物を買うことができず(調べたり選ぶ時間も取れず)、意欲が高まっている。買いたい物リストがかなり溜まっている(70点・女性35歳・愛知県)
- ・夏休みもあるしコロナ自粛から解放されたい(100点・女性40歳・大阪府)
- ・3ヶ月の自粛生活の中、食料品だけの購入の反動が(意欲)が湧いてきているため(80点・女性56歳・神奈川県)
- ・コロナで自粛が続いていて、ネットでお買い物が多く外でお買物をしたいので(80点・女性66歳・千葉県)

()内点数:消費意欲指数

(参考) 新型コロナウイルス周りの主な動き ※前回調査(6月4日～8日)後より今回調査(7月2日～6日)まで

- 6月11日 東京都、「東京アラート」を解除
- 6月16日 「東京アラート」解除後、2日連続感染者40人超
- 6月19日 都府県またぐ移動解除。飲食店・ライブハウスへの休業要請も解除
- 6月24日 都内で55人の感染者、50日ぶりの50人超え
- 7月2日 東京都の感染者数、2カ月ぶりの100人超えに
- 7月5日 小池都知事再選
- 7月6日 東京都、5日連続100人超え

補足資料③

特に買いたいモノ・サービス

■ 特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人の割合

Q. あなたが来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)

	2020年8月(%)	前月比(pt)	前年比(pt)
全体	25.9	-7.0	-3.2
男性	25.7	-5.8	-2.5
女性	26.2	-8.0	-3.7

■ 買いたいモノ・利用したいサービス

(特に買いたいモノ・利用したいサービスがある人ベース)

Q. 特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

【全体】(389人)

参考:男性(194人)

参考:女性(195人)

順位	カテゴリー	8月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	8月 (人数)	前月比	前年比	順位	カテゴリー	8月 (人数)	前月比	前年比
1	外食	190	-57	-26	1	旅行	101	-1	-6	1	ファッション	114	-52	-12
2	旅行	185	-13	-41	2	外食	79	-30	-9	2	外食	111	-27	-17
3	ファッション	183	-86	-23	3	ファッション	69	-34	-11	3	食品	94	-17	-16
4	食品	154	-47	-20	4	レジャー	61	-14	-19	4	旅行	84	-12	-35
5	レジャー	125	-17	-37	5	食品	60	-30	-4	5	理美容	74	-28	-6
6	書籍・エンタメ	116	-19	+4	6	書籍・エンタメ	58	-21	-2	6	化粧品	72	-32	-26
7	飲料	114	-34	-32	7	飲料	55	-12	-10	7	レジャー	64	-3	-18
8	家電・AV	104	-51	-5	8	家電・AV	51	-32	-9	8	飲料	59	-22	-22
9	理美容	94	-41	-10	9	パソコン・タブレット・周辺機器	37	-25	-1	8	日用品	59	-18	-8
10	日用品	85	-28	-6	10	車・バイク	33	+4	+4	10	書籍・エンタメ	58	+2	+6
11	化粧品	80	-38	-31	11	装飾品	27	-7	+6	11	家電・AV	53	-19	+4
12	インテリア用品	72	+1	+11	12	日用品	26	-10	+2	12	インテリア用品	48	-4	+10
13	装飾品	58	-20	-2	13	インテリア用品	24	+5	+1	13	装飾品	31	-13	-8
14	パソコン・タブレット・周辺機器	54	-28	-1	14	理美容	20	-13	-4	14	スマートフォン・携帯電話	19	-1	+4
15	車・バイク	39	+1	-4	15	スマートフォン・携帯電話	18	-20	-12	15	パソコン・タブレット・周辺機器	17	-3	±0
16	スマートフォン・携帯電話	37	-21	-8	16	化粧品	8	-6	-5	16	車・バイク	6	-3	-8

<全体にのみ下記基準で色付け>

※男女別ランキングは、母数が少ないため参考値

- : 前月比/前年比で20人以上増加
- : 前月比/前年比で20人以上減少

調査概要

■ 質問項目(質問文)

[消費意欲指数]

消費意欲(モノを買いたい、サービスを利用したいという欲求)が最高に高まった状態を100点とすると、あなたの来月(8月)の消費意欲は何点くらいですか。(自由回答)
また、あなたがその点数をつけた理由をお答えください。(自由回答)

[特に買いたいモノ・利用したいサービス]

あなたが来月(8月)、特に買いたいモノ・利用したいサービスはありますか。(単一回答:ある/ない)
特に買いたいモノ・利用したいサービスとは何ですか。(複数回答)

調査概要	生活総研が、生活者の気持ちの変化を読み解くために、生活に関する意識を指数(100点満点評価)で回答してもらうものです。					
調査地域	①首都40km圏 ②名古屋40km圏 ③阪神30km圏					
調査対象者	20～69歳の男女					
対象者割付	調査地域①～③各500人を各地域の人口構成比(性年代)に合わせ割付					
サンプル数	合計1,500人					
	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	122	145	190	161	137	755
女性	119	141	185	158	142	745
合計	241	286	375	319	279	1,500
調査方法	インターネット調査					
調査時期	2020年7月2日(木)～6日(月)(2012年4月から調査開始/毎月上旬に実査)					
調査機関	株式会社 H.M.マーケティングリサーチ					

<備考>

「来月の消費予報」は、毎月下旬に翌月の消費意欲指数を発表いたします。

・博報堂生活総合研究所は、7/16付で「第4回 新型コロナウイルスに関する生活者調査(2020年7月)」を発表いたしました。

<https://seikatsusoken.jp/wp/wp-content/uploads/2020/07/corona-release07.pdf>

こちらは、毎月第3・4週頃に発表する予定です。併せてご利用下さい。

問い合わせ先 博報堂生活総合研究所(近藤 佐香) 03-6441-6450 seikatsusoken.mail@hakuholdo.co.jp
株式会社博報堂 広報室(寺村) 03-6441-6161 koho.mail@hakuholdo.co.jp

データ公開 本調査のデータは、生活総研のホームページ(<https://seikatsusoken.jp/shohiyoho/2020-08/>)からダウンロードしていただけます。